

思考の時間

東日本国際大学附属昌平中学・高等学校

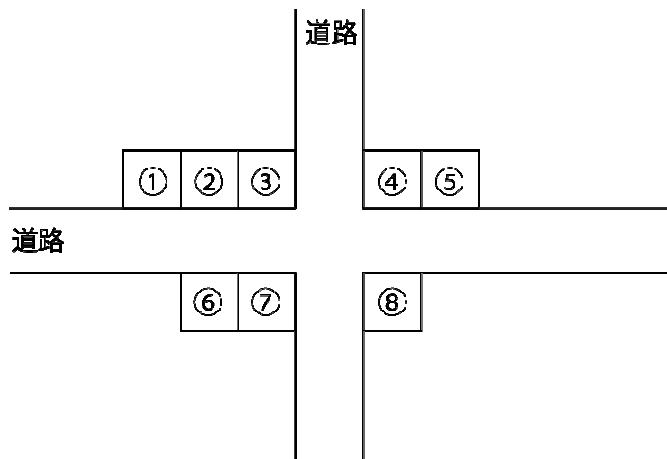
第13号 平成30年6月11日 数学科

6月に入り、梅雨の季節になってきましたね。雨で外に出れないときは、じっくり数学の問題を考えて過ごすのもよいと思います。時間をかけて考えると、解法が見えてくることも多いです。

先月の問題では、平均という中学で習う基本的な数量を使う問題でしたが、出題のされ方で頭を使う必要のある問題に変わっていました。これを面白いと感じた人は、これまで習った簡単な数学の問題を、頭を使う必要のある問題に変えて友達に出題してみましょう。さて、今月の問題も頭を使う問題です。

問題： 次の図のような十字型の道路に面して①～⑧の店が並んでおり、それらのいずれかの店主がA～Hの8人である。今、次のア～カのことが分かっているとき、確実にいえるのは1～5のうちのどれか。

- ア. Aの店は、2つの道路に面している。
- イ. AとBの店は、道路を挟んで真向かいにある。
- ウ. Cの店の隣にはDの店があり、BとDの店は、道路を挟んで真向かいにある。
- エ. CとHの店は、道路を挟んで真向かいにある。
- オ. Eの店の道路を挟んだ真向かいに店はない。
- カ. Fの店の隣の店とAの店は、道路を挟んで真向かいにある。



1. Aの店は、⑥である。
2. Bの店は、②である。
3. Cの店の隣は、Eの店である。
4. Dの店の隣は、Fの店である。
5. Eの店の隣は、Gの店である。